



グローバルCOEシンポジウム

Network Medicineによる 医学・生命科学の新たな潮流

平成25年2月1日 10:00~17:00
良陵会館 記念ホール

総合司会：中山 啓子（GCOEサブリーダー／医学系研究科・教授）

開会の挨拶 五十嵐 和彦（GCOEサブリーダー／医学系研究科・教授）

SESSION1: 10:05 - 11:55

オートファジーによるKeap1タンパク質分解とレドックス恒常性維持

田口 恵子 医学系研究科・助教

循環器系の恒常性維持と疾病発生における臓器間ネットワーク

下川 宏明 医学系研究科・教授

新規に発見された組織恒常性を担う生体内多能性幹細胞：Muse細胞

出澤 真理 医学系研究科・教授

微生物由来核酸によるヒト造血幹・前駆細胞の分化増殖制御

澤田 賢一 秋田大学大学院医学系研究科・教授

SESSION2: 12:50 - 14:20

天然変性タンパク質Bach2によるヘムシグナルネットワークの制御

松井(渡部)美紀 医学系研究科・助手

胚中心におけるPirBによるB細胞遊走の制御

北口 公司 医学系研究科・助教

一次繊毛形成における膜輸送制御機構：繊毛病との関連

水野 健作 生命科学系研究科・教授

肝グルコキナーゼは神経シグナルを介しBAT熱産生を抑制することで肥満への引き金を引く

突田 壮平 医学系研究科・助手

SESSION3: 14:40 - 16:10

乳癌においてTGFbeta1と変異p53に応答してEMTを実行するシグナル経路

佐邊 壽孝 北海道大学大学院医学研究科・教授

転写活性変化後にH3K27修飾変化は起こる

中山 啓子 医学系研究科・教授

細胞の分化・がん化とDNAメチル化制御

仲野 徹 大阪大学大学院医学系研究科・教授

SESSION4: 16:10 - 16:55 パネルディスカッション

「Network Medicineの現状と将来」

キックオフ発言：片桐秀樹（GCOEサブリーダー／医学系研究科・教授）

パネリスト：仲野徹、佐邊壽孝、片桐秀樹、五十嵐和彦、菅村和夫（宮城県立病院機構・理事長）

野田哲生（がん研究会がん研究所・所長）、佐竹正延（加齢医学研究所・所長）

青木正志（医学系研究科・教授）、江川新一（災害科学国際研究所・教授）

閉会の挨拶

本シンポジウムは各セッション毎にNM高等教育セミナー1回分とします。受講学生は履修簿を持参し、シンポジウム終了後にサインを受けること。聴講は自由大歓迎です。学部生の皆さんもぜひどうぞ。

拠点リーダー 岡 芳知 / 世話人 中山 啓子（細胞増殖制御・内線8227）